

焼香の作法



①軽く仏前で頭を下げる



②香をつまんで香炉へ。一回だけで額におしいただく必要はない



③お念仏をとなえて、合掌礼拝。一礼して退く

たいと思います。念珠を結婚のお祝いや、入学、卒業、就職などのお祝いとして贈るのもいいでしょう。

焼香の作法は宗派によって違いますが、浄土真宗本願寺派の場合は左図の通りです。①香をたくまえには合掌しない ②香をたくのは一回でよい ③香を、おしいただかない ④焼香のときキン（＝鈴）をたたかない——という点に注意してください。他宗派の葬儀のときにも、浄土真宗門徒としての作法で行ったらいいでしよう。

念珠の持ち方



①房を下にたらし、左手でもつようにする



②合掌の時は両手につけ、親指で軽くおさえる。珠をこすり合わせたり、握りしめたりしない

③念珠をかけて合掌した姿勢で、上体を45度傾けて礼拝する

合掌と焼香の作法

いつも念珠を  
香はおしいただかない

浄土真宗の合掌は、阿弥陀如来さまに対しての感謝の合掌です。

「合格したい」とか「お金持ちになりたい」といった人間の欲望を満たす、つまり祈願の合掌ではありません。

お仏壇の前に座り、指と指の間が開かないように両手の掌をぴったりと合わせます。そして「南無阿弥陀仏」とお念仏をお称えし、姿勢を正したまま上体を四十五度倒してお辞儀をするのが合掌・礼拝らいはいの作法です。

このときに欠かせないのが念珠です。大切な法具ですから、くれぐれも粗末に扱わないように注意してください。例えば、投げたり畳の上に直接置いたりほしないでください。

念珠は、毎日携帯する習慣をもってください